

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構  
外部評価委員会

日 時：令和6年6月18日（火）  
15：00～16：30  
場 所：徳島市藍場町2丁目14番地  
あわぎんホール4階 会議室4

次 第

- 1 開 会
- 2 委員の紹介
- 3 議事
  - (1) 令和5年度地方創生推進交付金事業の評価について
  - (2) その他
- 4 閉 会

以 上

# 一般社団法人イーストとくしま観光推進機構外部評価委員会 議事録

日 時 令和6年6月18日(火) 14:58~17:08

場 所 あわぎんホール4階 会議室4

<p>事務局 (仁木)</p>	<p><b>1 開 会</b></p> <p>皆さんお揃いになりましたので、ただいまから、「一般社団法人イーストとくしま観光推進機構 外部評価委員会」を始めさせていただきます。</p> <p>はじめに、資料の確認をさせていただきます。</p> <p>事前にメールでお送りしました資料につきまして、本日は印刷したものをお配りしております。</p> <p>次第、資料1「外部評価委員会設置要綱と裏面に名簿」、資料2「令和5年度事業報告」、資料3「地域再生計画」、資料4「地方創生推進交付金実施タイプ 実施計画」、「参考資料として観光DXしこくろりのチラシ」、「令和5年度徳島県東部圏域観光地域づくりに関する住民意識調査報告書」の以上6点でございます。資料の不足はございませんでしょうか。</p>
<p>事務局 (仁木)</p>	<p><b>2 委員の紹介</b></p> <p>それでは、ここで委員の皆さまのご紹介をさせていただきます。昨年度の外部評価委員会からの委員の変更はございません。</p> <p>委員長の、豊田哲也(とよだてつや) 委員でございます。</p> <p>副委員長の、高木博代(たかぎひろよ) 委員でございます。</p> <p>佐藤憲治(さとうけんじ) 委員でございます。</p> <p>青木伸太郎(あおきしんたろう) 委員でございます。</p> <p>また、委員会後には、議事録の要旨を作成し、委員の皆さまの確認を経て委員長の承認をいただいた後、当機構及び15市町村のホームページにて公開してまいりますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは、議事に移りたいと存じます。</p>

委員会の議長は、外部評価委員会設置要綱第5条の規定により、委員長があたることとなっております。  
豊田委員長、よろしくお願いいたします

### 3 議 事

委員長  
(豊田)

ではご指名ですので、議長を務めさせていただきます。議事の進行につきまして、ご協力をお願いいたします。議事に移ります。

本日の議事は、「令和5年度 地方創生推進交付金事業の評価」でございます。  
内容について、事務局より、報告をお願いいたします。

事務局  
(久米)

【資料2を中心に説明】 25分

事務局  
(渡辺)

【資料2を中心に補足説明】 38分

委員長  
(豊田)

詳しくご説明していただきありがとうございました。ただ今の説明につきまして、ご質問、ご意見はございますか。

A 委員

プロモーションを中心にたくさん展開されていることが分かりました。観光についてはいろいろな要因がありまして、最近個人的によく思うのが、観光に行った際にストレスなく移動できるとか、情報を得られるとか、決済ができるとかが最も重要だと思います。データ分析にもつながっていくので、何より地域の事業者さんが求めているものだと思います。ですので、ツアーのコンテンツ作り以外にも、こういった観光DXに注力してはどうでしょうか。

また、地域づくりを行っていく方針という観点では、最近日経新聞に記事が載っていたのですが、地域づくりには必要な要件が3つあると。1つは人、プレイヤー。もう1つはコミュニティ。3つ目は経済。DMOではこの3つすべてに関わっていけると思います。例えばコミュニティですと地域の多様な事業者、関係者が集まって議論できる場を用意するとか。いろいろな可能性が広がっていくと思いますので、これからの更なるご活躍に期待したいです。

委員長 (豊田)	A 委員のご意見はどちらも重要だと思います。1 番目におっしゃった観光客がストレスなく決済ができるかという点で、さきほどの「しこくるり」アプリに決済機能はございますか？
事務局 (渡辺)	ございます。しこくるりに参画していただく事業者さんも増やしているところです。
委員長 (豊田)	A 委員がおっしゃっているのは、徳島では交通系カードやペイペイなど普及が遅れているということですか？
A 委員	例えばバスですが、県外の方が羽田空港から徳島空港に到着した後、空港からリムジンバスに乗りたい、そのチケットをお客様は現金で購入しています。航空会社の人はそのような状況があり得ないとおっしゃいます。さきほどの「しこくるり」ではデジタルチケットという形で徳島バスの1日乗車券は購入できますので、そういったことを推進していけばいいと思っています。
委員長 (豊田)	交通関係では、MaaS の仕組みが検討されており、今から交通系カードを導入するより、次世代のスマホ決済などを検討する方が早道じゃないかと思いますが。
A 委員	バス会社さんはそういったことにできる限り対応したいと伺ったことはあります。
委員長 (豊田)	東京都内で行動していると、ほとんどキャッシュレスで済みますね。
B 委員	若者は特にそうですね。海外からのお客さんもキャッシュレス決済を利用されます。
委員長 (豊田)	観光事業者だけでなく、交通事業者や一般企業でもキャッシュレス決済への移行は非常に重要と思いますが、DMO としてはその推進の旗振りというか声がけをしていらっしゃるでしょうか？
事務局 (渡辺)	しこくるりの参画者拡大に向けては現在取り組んでいるところです。2 年前には徳島バスさんと JR さんとで、鳴門エリアで観光型 MaaS、スマ

	<p>ートフォン1つで周遊観光ができる取組みの実証実験を行ったことはあります。かかる費用も多額なため、現時点では本格導入には至っておりません。現状は、FAM ツアーやエージェンさんがイーストとくしまエリアにお越しいただいた際、次にその郷 DMO さんにご案内するときには、JR 徳島駅までアテンドするんですが、徳島駅は IC 対応の自動改札機がないんです、と申し上げる時に苦しい気持ちはあります。逆に紙の切符で手動による改札は珍しいといった切り口でご案内しています。</p>
委員長 (豊田)	<p>キャッシュレス化を進めるにあたって、どこが全体の旗振り役になり得るのでしょうか？</p>
B 委員	<p>各事業所さんが対応するしかないんでしょうね。</p>
C 委員	<p>お客さんからキャッシュレス決済を導入して欲しいと言われて各事業所が対応するという流れでしょうね。</p>
委員長 (豊田)	<p>導入するのは事業所でしょうが、それを呼びかける主体はどこがふさわしいか。経済団体？自治体？デジタルとリアルの融合を目指すという観点から、デジタル田園都市国家構想にも合致していると思えますが。</p>
B 委員	<p>どこから勧められても、事業所がそれを受け入れるか否かが重要なポイントですね。バーコード決済も多数あり、いろいろな会社が営業に来られます。ただし、受け入れ側が面倒だから、とか、手数料がかかるといった理由で置かない場合もあるように思います。</p>
C 委員	<p>キャッシュレス決済は複数の種類があって多くの会社が営業に来られます。キャッシュレス決済を導入しているからたくさんのお客さんが来るかと言えば、それはあまり関係ないようなも思います。キャッシュレス決済に対応しておくに越したことはないんですけども、必須ではないかと。手数料がかからない分、価格を安く改定してくれているんだという考え方もあります。</p>
事務局 (渡辺)	<p>我々 DMO も地域の皆さんとお話する際には、若い層や海外のお客様は現金を持ってない方が多いので、利便性の点で商売のチャンスが増えることは確実ですので、キャッシュレス決済が置けるのであれば置いてくださいね、というスタンスに変わりはありません。</p>

C 委員	<p>確かに高額な藍染商品なんかを買ってもらうにはカードでないと買ってくれないでしょうね。少額の決済ではそう関係ないかと。しこくりではデータを戦略として活用していく、アプリを通じて観光地をPRしていく、という点では積極的に進めていくのがいいと思います。</p>
事務局 (渡辺)	<p>駅や空港などの、観光で人がにぎわっているお土産屋さんなどでは、キャッシュレス決済に対応しているかどうかは日々の売り上げに直結してくるのではないかと思います。</p>
C 委員	<p>観光バスでいらっしゃる団体のお客様の場合は、つぎ何時に出発しますよという中での時間との勝負ですので、事業所としても短時間で決済処理を行い、より多くの人をさばくことが大事になってくるため、バス等での立ち寄り場所としての候補から外される場合もあり、経営戦略面でも非常に不利とも言えますね。</p>
委員長 (豊田)	<p>A 委員のバスの話に戻りますが、せめてリムジンバスぐらいはカード読み取り機を導入してもいいように思いますね。その分、運賃が値上げされても受け入れられるでしょうし。</p>
A 委員	<p>しこくりの普及をみんなで作っていきましょうとしていますので、利用客を増やしてデータを分析できる状態にして、地域が一体となって活用できるようにしていけばいいと思います。</p>
委員長 (豊田)	<p>もう1つ、A 委員が2つ目におっしゃった、地域づくりの要件であるプレイヤー、コミュニティ、経済について。プレイヤーというのはやる気を出して動いてくれるリーダーのことですね。経済は、地域に利益や雇用を産むこと。では、コミュニティというのはどういうイメージですか？</p>
A 委員	<p>DMO の仕組みの中で、多様な関係者と意見を交換する、しかも定期的に、というのがコミュニティなんじゃないかと。</p>
委員長 (豊田)	<p>DMO の中で？</p>
A 委員	<p>DMO が主体となって関係者がやり取りをできるコミュニティの仕組みを、もっと活性化させてもいいのではないかと思います。</p>

委員長 (豊田)	<p>私ども徳島大学が DMO と共同で開講している「観光コーディネーター養成講座」では、毎回ゲスト講師に話題提供いただいています。会場では関係者と名刺交換したり、講座の後に少しお話ししたりする時間があって、一種のコミュニティづくりに役立っているのではと思います。DMOがおこなうコミュニティづくりにはどのようなものがありますか？</p>
事務局 (渡辺)	<p>DMO の中では定期的集まりを持っています。関係者としては、行政の方に集まっていただく 15 市町村連絡会議、それから弊社の社員や会員の皆様に集まっていただく協議会などを行っています。協議会では、地域が抱えている課題について毎回テーマを設定し、専門家をお招きして講演をいただき、課題解決に向けて理解を深めていくようにしています。また、弊社事業の進捗状況についてお話しし、取組についての合意形成を図っていくようにしています。昨年ですと講演では DX の専門家をお招きし、講演をしていただきました。宿泊事業者さんとのコミュニケーションがこれまであまり取れていませんでしたので、今年度は初めての試みとして宿泊事業者さんとの意見交換会をさせていただくよう準備を進めています。弊社からはいろんな助成事業や DX についてのご案内をさせていただき、宿泊事業所様からは宿泊増に向けての課題などについて率直なご意見をいただければと思っています。そういった場を持つことで、ネットワークが構築され、関係性が強化され、情報共有もしやすくなると思っています。また、弊社から旅行会社やエージェントに対しても、ここのホテルはここが強みだよ、食事の対応が最大何人までできますよ、インバウンドにしっかり対応できますよ、というようなご案内もできるのではないかと考えています。</p>
事務局 (久米)	<p>DMO は、地域の関係者の皆様と合意形成を図っていくことが不可欠です。ただし、協議会は我々の社員や会員に限られますので、幅広い地域住民との合意形成を図る場とはなっていません。そのため社員、会員以外の関係者も集めて我々の取り組みをお伝えしたり、いろんなご意見をおうかがいするため、今回、まずは観光関係者の中で宿泊事業者さんにお声がけさせていただきました。今後も地域一体高付加価値化事業のような国補助金の募集がある可能性があり、申請する場合、なるべく宿泊事業者さんに集まっていただいた上で地域の皆様の合意形成を図ることが重要です。我々も限られたマンパワーではあるのですが、引き続き、地域一体となって取り組んでいける場をできるだけ設けていきたいと考えています。</p>

委員長 (豊田)	<p>確かに、DMOには公的組織としての使命がありますから、15市町村連絡会議、協議会、意見交換会があって、地域の合意形成を図っていくのは当然ですが、コミュニティというのは人と人とのつながりのことから、形式的な会合だけでなく、個人と個人の信頼関係が大事ではないかと。ざっくばらんな話の中で、「一緒にこんなことをして儲けないか」「じゃ今度仲間を誘って話そうよ」とか。つきあいの中で新しいアイデアが生まれてくることがある。学術用語でいうと、地域の社会関係資本と呼ばれるものですね。</p>
B委員	<p>そうですね。宿泊事業者が集まると多分補助金の話になったり宿泊事業者側の想いの発信になると思います。そうではなくて宿泊させるためにどんなことをするか、観光客にどんな楽しみを提供して泊まっていたけるようにするか、という議論ができる場も設けるべきかと思います。高知県にはひろめ市場があって高知城があって商店街がある。徳島でも藍染体験に行ったり浄瑠璃を見たりして、夜は美味しいものを食べてから泊まって帰ろうか、という気持ちになっていただくことを考えていくべきでしょう。せっかく眉山もあるので徳島城と眉山を周遊できるようなこと、ひょうたん島クルーズや今あるものを組み合わせると何かできないか。前回も申し上げましたが、藍のれんについてはのれんだけでは面白くないので、徳島の食材を使った盛り上げ隊があればいいと思います。藍のれんは高級だからお店側は誰だって欲しい。でも作って掛けてそれで終わりになってしまっていますね。藍のれんがかかったお店に行くと徳島の食材でこんなにおいしいものがありますよ、といった発信が大事。おいしいにはおいしいけれど徳島の食材を活かしているかと言えばまだまだのようなお店もありますね。</p>
事務局 (渡辺)	<p>おっしゃるとおりです。例えばホテルの話ですと、そこに泊まったお客様には蛍を見に行けるといったご案内をすとか、食事はこの料亭にご案内すとか、各ホテルで、そこに泊まったからこそできる満足を感じて頂けるような仕掛け、理由付けをすることが大事になってくると思います。せっかく徳島に来たのに、日帰りですべて帰ってしまう場合も多いので、まずは泊っていただける仕掛けが大事になってきますね。</p>
委員長 (豊田)	<p>藍のれんの事業について質問です。はい、綺麗なのれんが仕上がりました、写真を撮りました、だけではもったいない。セットで何かされていますか？</p>

事務局 (渡辺)	<p>去年もご指摘いただきましたが、次の発展性については具体的なアクションがとれておらず、イーストとくしまとお店の方から藍のれんの情報発信を SNS でおこなっていくに留まっています。</p>
委員長 (豊田)	<p>ここで話をコミュニティの話に戻させてください。徳島には新町川を守る会のように、地域のために貢献して下さるリーダーがいて、しっかりしたコミュニティもあると思うんです。そうしたコミュニティをどう増やしていくか。手前みそですが、徳島大学では来月、徳島市から鳴門市にかけての川北エリアでいろんな活動をされている方々に集まってもらい、お互いのネットワーク作りを支援しようと企画しています。私の身の回りでは、コロナの3年間で人と人のつながりが弱ってきているように感じます。DMO が組織として集まる際に、講演会でお話を聞いた後、3人とか4人のグループで意見交換してみるとか、名刺交換して帰りませんかとか、ちょっとした仕掛けでネットワークづくりの種を蒔くことができるのではないのでしょうか。</p>
C 委員	<p>話をするだけではなくて、小さくてもいいから一緒に何かやろうよ、と行動を起こすことが大事だと思います。私の所では今ひょうたん島水上タクシーをやっていますけど、最初は新町川を守る会の中村会長にひょうたん島クルーズで十郎兵衛屋敷にもお客さんを積んで来て欲しいということで、月に3日ぐらい日を選んでイベントをやっていたんです。文化庁の補助金が使えるということで、水上タクシーにステップアップできました。確かに以前からお付き合いもあったしある程度信頼関係が築けていたから発展させることができたと思っています。話すことも大事ですけど、何か一緒にやってみることも大事だと思います。一緒に何かをやっていかなければ深まりがでてきません。行動を起こすこと、そのために大事なものは、こんな街にしたい、という想い。一番大事なものはそこではないのかと。入込客数とか宿泊者数とかのいろんな指標はありますけれど、それよりはどんな街にしていきたいのか、という明確なビジョンが必要なのではないのでしょうか。徳島県東部圏域の目指すべき将来像が物足りないように思います。「訪れてよし、住んでよし、持続可能な地域づくり」ではどの地域にも当てはまることですし、徳島ならではの明確なビジョンをコミュニティの場で共有して、そこから小さくてもいいからまず行動すること。失敗したら原因を考えて次に活かしていけばいいと思うんです。街を変えていくことが観光の振興にも繋がるん</p>

	<p>だと思えます。相乗効果により、街を変えていくことで、結果として宿泊者も増えていくように思います。</p>
委員長 (豊田)	<p>今おっしゃっていただいたことは全く同感です。とは言え、予算をいただいて事業をおこなうためには KPI 指標が大事で、データに基づいて良くなったか悪くなったか、評価をしていかなければなりません。もちろん、究極の目標はシビックプライドや地域の愛着をどう高めていくかにあると思うのですが。</p>
C 委員	<p>シビックプライドの醸成が大事ということは大変評価するんですが、シビックプライドの醸成も喫緊の課題である、とありますが、「も」ではなく、シビックプライドの醸成「こそ」が徳島の街を変えて観光振興をするんだ、という位の気持ちで取り組まれるのがいいのではないかと。</p>
事務局 (渡辺)	<p>ありがとうございます。もう一段格上と言うか、シビックプライドというのは大きな抽象的な言葉ですので、私どもも小さいところからでも行動を起こしていきたいと思っています。</p>
委員長 (豊田)	<p>他に何かご意見ありますか？</p>
A 委員	<p>地方創生推進交付金という財源の議論ではありますが、もう 1 つ別の切り口で、最近全国で議論されています宿泊税について検討している自治体が増えてきているのを新聞等で目にします。観光振興をするための財源を徳島県東部エリアの住民だけで負担するのが良いのか、という考え方もありまして、域外から訪れる観光客にもご負担していただく考えもあるんですが、いろいろと調べてみますと、負担する人が公平感を感じることができるかが大事なポイントとなってくるようです。観光振興を進めるための財源として宿泊者から徴収する宿泊税だけでいいのか、といった公平性もあるでしょうし。公平感を保った上で検討した方がいいのではないかと思います。</p>
委員長 (豊田)	<p>宿泊税の課税目的は、旅行者が公共サービスを利用する分、受益者負担してもらう点にあるのですが、もう 1 つ、欧州などオーバーツーリズム問題が深刻化する地域で、観光客数をコントロールする手段としても注目されていますね。つまり、公平な負担と需要の抑制の 2 つの面があるわけですね。A 委員がおっしゃられたのは前半の部分ですね。徳島で宿泊</p>

	<p>税を導入するとすれば、そのことで宿泊にブレーキがかかってしまわないか、という議論もあると思います。</p>
A 委員	<p>観光地づくりの財源を中長期にわたり確保する観点からも議論をすることは重要だと思います。</p>
委員長 (豊田)	<p>ホテルに泊まった人が、1万円払いました、それが従業員の給料とか企業の利益になって所得税で地域に還元されていく、という経済循環のサイクルがあります。それとは別に宿泊税をいただくには、それで公共サービスを充実させますといったロジックが要ると思うんですね。インバウンドについては国が入国税をとり、観光関連事業への補助金として配分することも重要です。資料2P28の地域一体高付加価値化のホテル改修を例にとると、国の補助金が半分ということですから。</p>
A 委員	<p>観光客の人にプラスαで負担してもらってもいいよう到来訪する人の満足度をコツコツと高めていくのがDMOの役割だと思います。</p>
委員長 (豊田)	<p>資料2P31の動態調査については、これは誰を対象におこなった調査ですか？</p>
事務局 (久米)	<p>日本人です。KDDIのビッグデータを使用して、徳島県東部圏域を訪れた1万人を対象にして調査分析を行いました。P13に書いてあるように、県の補助金を活用して、KDDIに調査と分析をお願いしました。</p>
委員長 (豊田)	<p>この分析結果は公開していますか？</p>
事務局 (久米)	<p>すべてを資料としては公開はしておりません。1枚ものの全体サマリーとしては今回の外部評価委員会に出させていただいたのと、社員・会員の皆様や、成果報告会にご出席いただいた関係者に報告しています。</p>
委員長 (豊田)	<p>せっかくお金をかけて実施した調査ですから、結果を地域の方に公開すればいいかと思います。</p>
事務局 (久米)	<p>住民意識調査については昨年この会で結果を共有させていただきたいということでしたので、今回配布させていただきました。動態調査についても配布して共有できます。確かに動態調査は非常に重要で、徳島県</p>

	<p>東部の関係者に観光客の動態について、今はこういう状況でこういった課題があり、解決していかなければならないということを経営の皆様と共有することが非常に大事だと思っています。観光DXのしこくりにについても、アプリは4万ダウンロードでまだ決して大きなものではありませんが、ダウンロードした方の動態が分かり、どこの観光地を訪れているのかの行動軌跡をたどれば今後のマーケティングのヒントになりますので、参画事業者さんと一体となってマーケティングに活用していきたいと考えています。</p>
<p>委員長 (豊田)</p>	<p>そうですね。4万人分の行動データがあるのなら、できるだけ活用できるようにしていただければと思います。</p> <p>他に意見はありませんか？それでは時間も参りましたので事務局に戻します。</p>
<p>事務局 (渡辺)</p>	<p>本日は皆様方から大変参考になるご意見をいただきましてありがとうございました。先ほどのシビックプライドの話も含めて、今年度の事業にしっかりと活かしてまいりたいと思います。本日は誠にありがとうございました。</p>
<p>事務局 (久米)</p>	<p>それでは、最後に事務局から議事案件以外のことでご報告申し上げます。前段にも申しましたけれども、本日の議事録につきましては、今回の議事内容の要旨を当機構やその交付金を使っている15市町村のホームページで公開して、広く周知することが求められます。後日、メールにて議事録の確認のお願いをさせていただきますので、よろしくお願いいたします。</p>
	<p>4 閉 会</p>
<p>司会 (仁木)</p>	<p>これをもちまして、本日の外部評価委員会を閉会いたします。 (終了)</p>

終了時刻 17時08分

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構  
令和5年度 事業報告

外部評価委員会  
(地方創生推進交付金 外部評価委員会)  
2024年6月18日

# 議事内容

## 地方創生推進交付金の概要



＜地方創生推進交付金とは＞

「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方公共団体の地域再生に係る自主的・主体的な事業を記載し作成した、「地域再生計画」を内閣総理大臣が認定。同計画やさらに詳細な実施計画に基づく取組みに対して、国が各種支援を行う。（R4途中から、「デジタル田園都市国家構想交付金」）



＜認定された地域再生計画＞

認定日：R3.3.30内閣総理大臣認定

計画の名称：イーストとくしまDMOニューツーリズム推進による新たな事業創出による地域活性化の実現

計画期間・採択事業費：R3～R5年度の3年間、3か年事業費99,340千円

＜事業の効果検証＞

事業の実施主体者となるイーストとくしまは、国の「デジタル田園都市国家構想交付金制度要綱」に基づき、地域の実情に応じて、効率的かつ効果的な事業に努める。効果測定においては、客観的な指標（KPI）を設定し、達成状況を検証。

＜外部評価委員会＞

イーストとくしまでは、今後の方針や事業の改善を行っていく。「外部評価委員会設置要綱」に基づき、毎年度の交付金事業の実績について、学識経験者等の第三者による専門的な観点から、事業評価・効果検証を行い、その内容を当機構や市町村のHP等で広く公表するとともに、



## 徳島東部の構造的な課題

- 徳島東部には、「阿波おどり」や「鳴門の渦潮」といったキラコンテンツがあるがゆえに、通年型・滞在型の観光に至らず、宿泊者数では、全国でも下位の常連で、観光消費額等の経済効果も限定的となっている。
- 地域の魅力度ランキングでも、他県に比べても低く、住民の地域への愛着度も低い。地元を愛し、地域の価値を理解してもらい、観光地としての魅力の底上げを図るシビックプライドの醸成も喫緊の課題である。

## 徳島東部の目指すべき将来像

- 人口減少社会において、「外貨」の獲得と地域住民の活躍の場を創出できる“観光”を地域活性化の切り札として捉え、「訪れてよし」、「住んでよし」の観光地域づくりを推進し、持続可能な地域づくりを目指す。
- 「訪れてよし」の観光地域づくりのため、「価値に見合った対価を支払う旅行者」をターゲットとし、テーマ性の強い体験型「ニューツーリズム」といった高付加価値コンテンツを創出。
- 「住んでよし」の地域づくりを推進し、旅行者の「訪れてよし」と地域住民の「住んでよし」の触れ合いを通じて、関係人口・定住人口の増加を図る。

## 事業の実施内容

### ○ニューツーリズム推進事業

目指すべき観光地域づくりのコンセプト・戦略の明確化と、事業の着実な実施に取り組む。具体的には、遍路や自然と融合したアドベンチャーツーリズムの推進、関西の台所と評されている豊富な農産物や地域資源を活かした体験型コンテンツを観光資源として磨きあげ、「ニューツーリズム」として推進。

### ○シビックプライド醸成・人材育成事業

観光産業での創業や新ビジネスを創出するような人材育成の取組みを推進するほか、インバウンド対応に向けて、観光ガイドなどの養成に取り組む。また、SNSを活用したWEBプロモーションにより、住民が地域の魅力を再発見し、地域への誇りと愛着の醸成を図る。



## <説明Ⅰ>

観光消費額、延べ宿泊者数等のKPI指標について

- a. 地域再生計画目標数値について
- b. 地方再生計画目標数値の捉え方について
- c. 令和5年度状況について

## <説明Ⅱ>

イーストとくしま観光推進機構の取組について

- a. 令和5年度決算等の状況について
- b. 令和5年度の事業内容について

# 説明 I

**観光消費額、延べ宿泊者数等のKPI指標**



## ●重要業績評価指標（KPI）について

### a.地域再生計画数値目標数値（重要業績評価指標KPI）について ※ 資料4 実施計画より

項目		2020(R2) 計画前 推計値	2021(R3) 1年目	2022(R4) 2年目	2023(R5) 3年目	3か年の累計
1人あたり観光消費額 (千円)	目標	24	28 (+4)	38 (+10)	41 (+3)	41 (+17)
	実績		22 (-2)	34 (+12)	32 (-2)	32 (+8)
延べ宿泊者数 (万人)	目標	109.2	144.2 (+35.0)	206.2 (+62.0)	209.2 (+3.0)	209.2 (+100)
	実績		110.2 (+1.0)	135.5 (+25.3)	175.6 (+40.1)	175.6 (+66.4)
来訪者満足度 (大変満足・%)	目標	37.7	38.2 (+0.5)	39.2 (+1.0)	40.2 (+1.0)	40.2 (+2.5)
	実績		41 (+3.3)	38.7 (-2.3)	39.4 (+0.7)	39.4 (+1.7)
住民満足度※ (とても満足または満足・%)	目標	-	-	35.5 (+2.0)	36.5 (+1.0)	36.5 (+3.0)
	実績		33.5	32.3 (-1.2)	35.0 (+2.7)	35.0 (+1.5)

※R3にはじめて実施。3か年増加分「+3%」を達成するため、R4+2%、R5+1%の目標設定とする。

### b.地域再生計画数値目標の捉え方について

行政・交通事業者・旅行事業者など様々な関係者との協働の中で、イーストとくしまの役割を明確にし、ミッションを遂行する事で、上記目標達成を目指す。

### c.令和5年度達成状況について

- ・地方部でのインバウンドの回復の遅れもあり、観光消費額や延べ宿泊者数では、計画数値を下回った。
- ・来訪者満足度については、対前年度で増加に転じ、目標数値に近い数値となった。
- ・住民満足度は、初年度R3が191件のサンプル数に対し、R4が611件、551件のサンプル数で、より実情を捉えた数値となっている。



その他のKPI達成状況

出典：観光庁ほか

項目		2018		2019		2020		2021		2022		2023	
リピーター率 (%)	目標	54.3		54.3		54.3		54.3		54.3		54.5	
	実績	54.3	100.0%	49.1	90.4%	49.2	90.6%	50.6	93.2%	51.1	94.1%	48.1	88.3%
Webサイトアクセス数 (万PV)	目標	25		52.5		75.0		120.0		150.0		130.0	
	実績	3.9	15.6%	18.1	34.5%	33.8	45.1%	67.5	56.3%	104.7	69.8%	158.2	121.7%
観光入れ込み客数 (万人)	目標	1418.8		1450.0		1465.0		1480.0		1495.0		1400.0	
	実績	1365.2	96.2%	1421.4	98.0%	998.2	68.1%	847.9	57.3%	1063.5	71.1%	1153.6	82.4%
着地型旅行商品 造成数 累計	目標	—		20		40		60		80		100	
	実績	—	—	32	160.0%	79	197.5%	108	180.0%	120	150.0%	138	138.0%
ツアー造成 支援数 累計	目標	—		25		50		75		100		125	
	実績	—	—	21	84.0%	38	76.0%	58	77.3%	83	83.0%	106	84.8%

令和5年度達成状況について

- ・来訪者リピーター率は、2023年度は数値的には低いが、新規来訪者の増加によるものと考えている。
- ・Webサイトアクセス数は、**2023年度は対前年度で50%以上の増となっております、露出が高まっています。**
- ・着地型観光旅行商品造成数は、**5年間の延べ造成数では、目標値を上回っている。**
- ・ツアー造成支援数では、目標値には届いていないが、毎年一定数増加している。

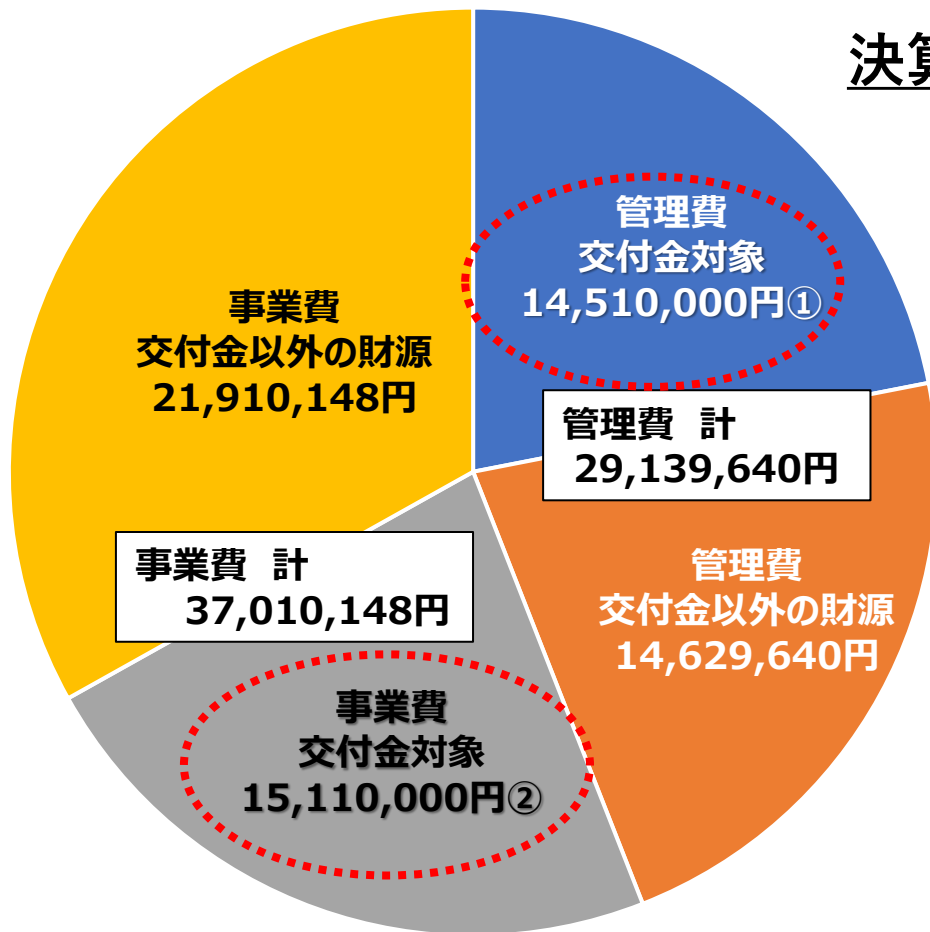
# 説明Ⅱ

## 決算状況



## a. 令和5年度決算等の状況について

決算額 66,149,788円



管理費	29,139,640
地方創生推進交付金対象	14,510,000
事業費	37,010,148
地方創生推進交付金対象	15,110,000
決算 合計	66,149,788
地方創生推進交付金対象	29,620,000

管理費：職員人件費、事務所賃料、光熱費などの組織の管理運営経費

事業費：誘客促進のための各種取組みに係る費用

**地方創生推進交付金対象① + ②**  
**29,620,000円**



a. 令和5年度決算等の状況について  
地方創生推進交付金の事業経費内訳

(単位：円)

	計画額	実績額	差
<b>管理費 I</b>	<b>14,510,000</b>	<b>14,510,000</b>	<b>0</b>
(1)職員等人件費・組織管理運営に係る経費	14,510,000	14,510,000	0
<b>事業費 ①+② II</b>	<b>15,110,000</b>	<b>15,110,000</b>	<b>0</b>
<b>①新たな旅行スタイルに対応したニューツーリズムの推進事業</b>	<b>10,870,000</b>	<b>10,870,000</b>	<b>0</b>
(1)東徳島トレイル開発事業	3,000,000	3,134,702	134,702
・アドベンチャーツーリズムファムツアー実施費、WEBプロモーション委託費等	3,000,000	3,134,702	134,702
(2)ウォーターウェイツーリズム開発事業	3,000,000	2,832,881	△167,119
・WEBプロモーション委託費、県外プロモーション費等	3,000,000	2,832,881	△167,119
(3)クラフト&フードツーリズム開発事業	3,000,000	2,824,715	△175,285
・WEBプロモーション委託費、徳島・鳴門旅キャンペーン費等	3,000,000	2,824,715	△175,285
(4)ナイトタイムツーリズム開発事業	1,870,000	2,077,702	207,702
・WEBプロモーション委託費、ナイトタイムコンテンツ情報誌作成費等	1,870,000	2,077,702	207,702
<b>②シビックプライド醸成・創業人材育成事業</b>	<b>4,240,000</b>	<b>4,240,000</b>	<b>0</b>
・観光アンケート調査委託費・住民満足度等調査委託費、観光コデーター養成講座開催費、徳島誘客ラボ開催費等	4,240,000	4,240,000	0
<b>合 計 I + II</b>	<b>29,620,000</b>	<b>29,620,000</b>	<b>0</b>



## b.令和5年度の事業について

★地方創生推進交付金を活用した事業 **R5：15,110,000円**

**【ニューツーリズムの推進やシビックプライドの醸成に係る主な事業】**

- アドベンチャーツーリズムファムツアー事業 **(620千円)**
- ツーリズムEXPO・国内外商談会等プロモーション事業 **(1,587千円)**
- SNSを活用したWEBプロモーション事業 **(4,950千円)**
- HP運営事業 **(1,089千円)**
- ナイトタイムコンテンツ情報誌作成事業 **(400千円)**
- 徳島・鳴門旅キャンペーン事業企画・運営費 **(998千円)**
- インバンドアドバイザー業務委託費 **(721千円)**
- 観光コーディネーター養成講座の開催 **(299千円)**
- 観光地域づくり住民意識調査・観光アンケート調査 **(1,858千円)**
- イーストとくしま誘客ラボ開催費 **(399千円)**



## b.令和5年度の事業について

### ★地方創生推進交付金以外の財源を活用した事業

・観光庁などの国の補助金、県の補助金、市町村や事業者からの事業受託等

- インバウンド地方誘客や消費拡大に向けた観光コンテンツ造成事業  
(6,266千円：観光庁補助事業→歩き遍路・宿坊勤行・藍染め等の特別体験)
- 地域一体となった観光地の再生・観光産業の高付加価値化事業  
(5,478千円：観光庁補助事業→観光アプリを活用した面的DXの推進)
- 文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光推進事業  
(1,300千円：文化庁補助事業→各種イベント時における周遊船の運航)
- 藍のれんあるまちづくり推進事業 (1,488千円：県補助事業)
- 徳島東部圏域観光動態調査  
(3,993千円：県補助事業→5年ぶりとなる徳島東部来訪者の動態調査)
- インバウンド向けプロモーション事業  
(1,453千円：県観光協会からの受託事業)

# 説明Ⅲ

**地方創生推進交付金を活用した具体的な取組み  
ファム・メディアツアーや展示会・商談会のプロモーション**



令和2～3年度はコロナ禍において、  
国補助事業等を活用し、魅力的なコンテンツを造成・磨き上げ



HIKE ! TOKUSHIMA



四国の入口～鳴門活性化～



Food & クラフト体験



WaterWayツーリズム



上勝サステナブルツアー



酒と人情、味な店  
カンパイ  
徳島  
TOKUSHIMA NIGHT TIME CONTENT

令和4～5年度における重点施策は、2025大阪・関西万博を見据え

「造成したコンテンツを販売に繋げる」こと それに向けて

- ・ ファムツアー
  - ・ メディアツアー
  - ・ 展示会・商談会
  - ・ 情報発信
- を積極的に推進する



令和5年度 ファムツアー（主催3回）

No	日程	内容	行程	参加者
1	9/6～9/8	歩き遍路と藍の特別体験プログラムファムツアー	徳島、鳴門、板野 上板、藍住	国内旅行会社 訪日部門7社
2	10/6～10/8	歩き遍路と藍の特別体験プログラムファムツアー	徳島、鳴門、板野 上板、藍住	インバウンド ガイド4名
3	2/1～2/2	<b>阿波のまほろば “神山町” &amp; 徳島県唯一の村 “佐那河内村” ファム (地方創生推進交付金を活用した事業)</b>	徳島、佐那河内 神山	国内旅行会社 5社



令和5年度 ファムツアー（コース提案・アテンド10回）

No	日程	内容	No	日程	内容
1	6/15	香港EGLツアーズ視察（徳島、鳴門、板野）	6	12/14	EXPO関西観光推進協議会欧州FAM（鳴門）
2	7/26	台湾旅行会社招聘ファム（鳴門、藍住）	7	1/12	南海-徳島フリーパスFIT向け旅行会社ファム （徳島、鳴門、板野、藍住、神山）
3	9/20	台湾旅行会社招聘ファム（鳴門）	8	1/12	新観光ブランディングファム（徳島、鳴門、阿波、上勝）
4	10/25	せとうちDMOリジェネラティブファム（鳴門）	9	1/18	そらの郷マレーシアファム（徳島、鳴門、石井）
5	12/4	Shikoku Pilgrimage Cycling AT Development Project FamTour（徳島、上勝）	10	3/10	関西広域周遊バスモニターツアー（徳島、鳴門）



令和5年度は 5回の海外メディア・インフルエンサーのツアーを受け入れ（1回は主催）

	日程	内容	行程	参加者
1	9/20	ATWS海外メディアツアー(Oku Japan Press Trip)	徳島、藍住	欧米トラベルライター4名
2	10/12~10/14	TV ARTE	徳島、上板、藍住	仏テレビ局
3	11/7~11/8	歩き遍路と藍の特別体験プログラムメディアツアー	徳島、鳴門、板野、藍住、上板	米・伊・比・日インフルエンサー
4	3/10	関西広域連合テーマ（水）別観光推進メディアツアー	徳島市	欧米系インフルエンサー他3名
5	3/12	タイ国インフルエンサーメディアツアー	徳島、鳴門、阿波、藍住	タイメディア2社インフルエンサー5名





令和5年度は 13回の展示会・商談会に参加しセールス活動を実施

No	日程	タイトル	会場	商談相手
1	9/20	徳島県内観光事業者向け商談会	徳島市	国内旅行会社、OTA
2	9/27	<b>四国観光商談会2023 in 大阪</b>	大阪府	国内旅行会社、OTA
3	10/5	<b>四国観光商談会2023 in 東京</b>	東京都	国内旅行会社、OTA
4	10/20	<b>第1期 EXPO2025関西観光推進協議会商談会 in 東京</b>	東京都	国内外旅行会社、ランオペ、OTA
5	10/26-29	<b>ツーリズムEXPO・VJTM</b>	大阪府	国内外旅行会社、ランオペ、OTA
6	10/31	<b>第1期 EXPO2025関西観光推進協議会商談会 in 大阪</b>	大阪府	国内外旅行会社、ランオペ、OTA
7	11/21	<b>オール徳島観光商談会</b>	東京都	国内旅行会社、航空会社
8	11/29	四国インバウンド商談会in徳島2023	徳島市	海外旅行会社、ランオペ、OTA
9	12/6	<b>瀬戸内クルーズ推進会議</b>	東京都	国内外クルーズ船社、旅行会社
10	1/26	在近畿ホテルコンシェルジュ向けプレゼンテーション	オンライン	在近畿ホテルコンシェルジュ
11	2/9	<b>第2期 EXPO2025関西観光推進協議会商談会 in 大阪</b>	大阪府	国内外旅行会社、ランオペ、OTA
12	2/16	<b>第2期 EXPO2025関西観光推進協議会商談会 in 東京</b>	東京都	国内外旅行会社、ランオペ、OTA
13	3/14	<b>徳島県教育旅行誘致説明会</b>	大阪府	国内旅行会社（教育旅行担当）

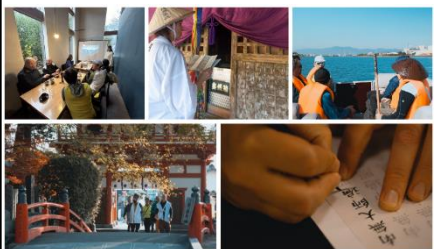
**赤字は地方創生推進交付金を活用した事業**

ファムツアー、展示会・商談会から新たなツアー造成に繋がった事例（一部）



Highlight of the Shikoku Pilgrimage: "Dojo of the Awakening" [7 nights and 8 days]

This tour is the first part of a 1,400-kilometer prayer journey to 88 temples to reflect on the footprints and teachings of Kobo-Daishi, who renounced worldly desires in his quest for enlightenment. Above 1,200 years ago, Kobo-Daishi, a peasant and deeply troubled man, began his pilgrimages in search of a chance to change his life. Through solitary time, physical exertion and dialogue with himself, he realized that what he was facing was not material, but a highly spiritual existence, and was struck by a strong feeling that what he was seeing was part of himself and vice versa in the face of beautiful nature. From there, he begins his exploration of enlightenment. Shikoku Hare, the most famous pilgrimage route in Japan, consists of four training halls (Dojos), and this tour is the first part of the Awakening Dojo, an 8-day/7-night tour.



**【団体ツアー行程表】（行程表）** ページ: 1/1

ツアー名: 徳島の懐深く〜奥祖谷、剣山、山犬塚〜 3日間 作成日: 2022年11月21日  
 更新日: 2022年11月21日  
 参加人数: 大人 8〜16名+添乗員1名 株式会社コーシア旅行社  
 担当: 大久保令子  
 電話: 03-3265-0620  
 FAX: 03-3239-8638

日程	スケジュール
5/28 (日)	【日本航空491便】【配車8:55】 羽田>>>>高知空港 ===== 大歩危空港 ===== ひの字渡合（写真）==== 07:40 09:00/09:20 10:30/11:30 12:00/12:05 ① 小使小僧の像 ===== 昼食 ===== 箱谷のかずら橋・琵琶の滝 ===== 12:10/12:20 12:40/13:40 13:50/15:00 ※行けたら 二重がずら橋 ===== ホテル 16:30 宿泊 ラフォーレつるぎ山 電話:0883-67-5555 住所:美馬郡つるぎ町一丁目宇崎館6198-2 食事 朝:×,昼:ホテル秘伝の湯(予定) TEL: 夕食:ホテル
5/29 (月)	15分 大人往復@1900円 ホテル ===== 剣山 見ノ越第1駐車場 ##### 剣山登山口/西島駅 ..... 08:45 08:55/09:00 09:15/09:30 ② 遊歩道コース28分..... 剣山山頂..... 大剣道コース60分..... 剣山登山口/西島駅 ## 10:50/11:20 12:20/12:30 ##### 剣山 見ノ越第1駐車場 ===== 昼食 ===== (休憩) ===== ホテル 12:45/13:00 13:10/14:00 17:00 宿泊 月ヶ谷温泉 電話:0885-46-0203 住所:勝浦郡上勝町福原平間7-1-1 食事 朝:ホテル,昼:民泊まつら(予定) TEL:0883-67-5009, 夕:ホテル
5/30 (火)	ホテル ===== 櫻原の頼田 ===== 登山口 ..... 山犬塚 ..... 登山口 ===== 08:30 08:50/08:55 09:05 10:20/10:35 11:10 昼食11:40-12:30 ③ ホテル+昼食+入浴 ===== 彩農場いしむら山山の現地見学 ===== 11:40/13:00 13:00/14:00 ===== ゼロ・ウェイストセンター ===== 徳島空港 >>>> 羽田空港 14:10/15:10 16:45/17:45 19:00 宿泊 なし 食事 朝:ホテル,昼:月ヶ谷温泉 電話:0885-46-0203 夕:なし

**<四国百山>雲早山 (くもそやま/1495.9m/入門)**

日帰り 登山 中国・四国  
 <歩行: 約3時間/ルート: 往復コース/所在地: 徳島県・神山町>  
 豊かな自然の残る山。

旅行日程  
 2023年 8月27日(日) キャンセル待ち

旅行代金 **11,000円**



**山旅人**

新緑の森と斜面を隈め尽くす花々 森の森マシヤが大披露

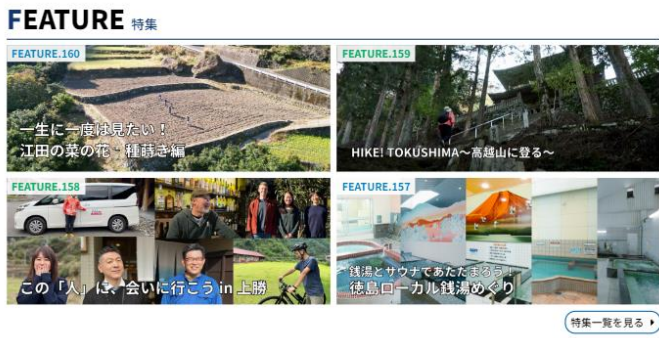
山旅人 山旅人  
 ジャンル: 自然  
 開催日時: 2023年09月14日(日)  
 開催時間: 10:00-15:00  
 ツアー名: 山旅人  
 開催場所: 徳島県神山町  
 料金: 参加費 1,000円 (税別)  
 申込: 先着順 (定員 100名)  
 申込: 089-461-1111 (神山町観光課) 089-461-1111 (神山町観光課) 089-461-1111 (神山町観光課)  
 申込: 089-461-1111 (神山町観光課) 089-461-1111 (神山町観光課) 089-461-1111 (神山町観光課)

# 説明Ⅲ

**地方創生推進交付金を活用した具体的な取組み**  
**SNS等 情報発信事業**

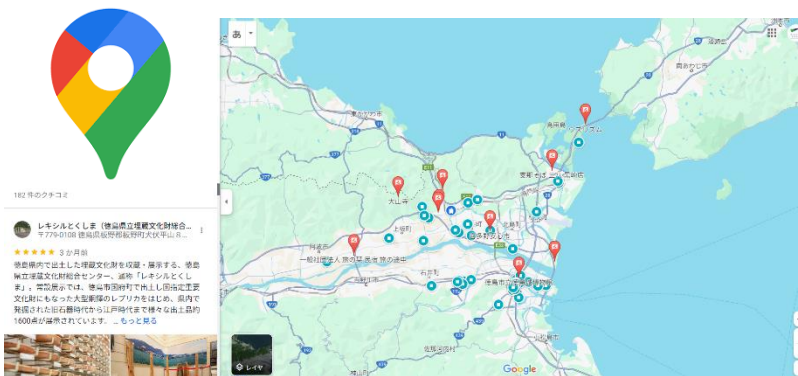


「検索しても、ヒットしない」状態を回避すべく、観光スポットや体験の情報を拡充



R4 約39万PV／年 ▶ R5年度 約51万回表示／年 (30.7%増)

※Googleアナリティクスの計測方法の仕様変更により、単位変更 (PV→表示回数)



写真の閲覧数1,300万回突破

R4年 約500万回 ▶ R5 1,330万回 (166%増)



フォロワー数 R4 1,144 ▶ R5 1,344 (17.4%増)



フォロワー数 R4 1,677 ▶ R5 14,600 (770.6%増)



フォロワー数 R4 888 ▶ R5 1,309 (47.4%増)



リール動画で新規層へのアプローチを重ねながら  
つい見たくなくなってしまいうアカウントになるよう設計/運用

最も再生された「総おどり」  
国内のみならず、英語圏のフォロワーも獲得

①インフルエンサー施策

- ・徳島の酒場を紹介するカンパイ徳島の「しやごチャンネル」投稿で新規層へのアプローチに成功



②多言語化対応

- ・キャプションの日本語/英語の併記による英語圏のユーザーにも訴求
- ・現在では、フォロワーの半数が英語圏

③媒体の役割分担の明確化

- ・リールで情報を届けフィードで興味を喚起しフォローへ
- ・今年度はリールに注力し企画から公開まで内製化(44本)

④フォロワーとのコミュニケーション

- ・アンケートやスタンプ機能を用いたストーリーズでの双方向のやりとりを積み重ね、信頼獲得



2023年8月16日にシェアされたリール動画  
作成名: EAST\_TOKUSHIMA

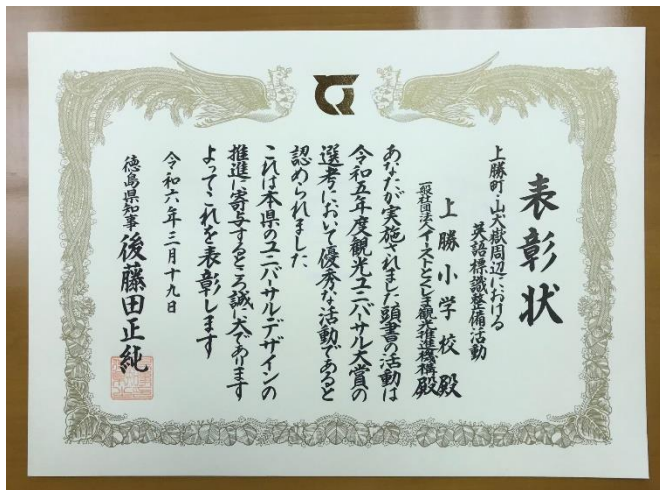
再生	70.6万
いいね	4.6万
コメント	252
共有	240
保存	2227
フォロー	6498

# 説明Ⅲ

**地方創生推進交付金を活用した具体的な取組み  
シビックプライド醸成事業**



上勝小学校の児童と行った「山犬嶽周辺の英語標識整備事業」が観光ユニバーサル大賞を受賞



R6.3.19 徳島県庁で表彰式



山犬嶽の看板を確認する児童と井内事務局長(右端)  
＝上勝町生夫

山犬嶽外国人に優しく  
上勝小児童と  
観光推進機構  
英語看板設置へ  
県東部の15市町村や企業  
でつくるイーストとくしま  
観光推進機構が、上勝町生  
実の山犬嶽周辺に外国人観  
光客向けの英語表記看板を  
設置するため、上勝小学校  
の児童と現地調査をした。  
6年生入りと機構の井内  
泰事務局長らが、山犬嶽  
と日本の棚田百選に選ばれ  
ている「檜原の棚田」を約  
2時間歩いた。日本語の案  
内看板しかない上、ルート  
が分かりにくい場所もあつ  
た。久保敬司君(11)は「外  
国人が自然を満喫しながら

R4.7.10  
徳島新聞朝刊

安全に歩けるように工夫し  
たい」と力を込めた。  
調査は、機構の「上勝の  
自然と文化を活用した観光  
コンテンツ整備事業」が、  
観光庁の「サステナブルな  
観光コンテンツ強化事業」  
に採択されたことを受けて  
7日に実施した。9、10月  
に看板を作り、11月ごろに  
設置する。  
(板野睦)  
【紙面編集】岡野久夫



徳島大学・徳島県と連携し、観光業界のトップランナーを招いた講座を実施

主催：(一社) イーストとくしま観光推進機構  
共催：徳島大学、徳島県

**受講無料**

## 稼ぐ観光地域づくりに 観光コーディネーター養成講座

観光による地域創生を目的とし、日本の観光業界のトップランナーや地域で活躍するプレイヤーを講師に迎え、最先端の観光地域づくりの考え方や、先進地域の成功事例などを通じて新たな観光コンテンツやサービス等を造成する“観光”を担う人材の育成・発掘する講座です。

<p>11/20(月) 18:30~20:00</p> <p><b>「観光業のフードダイバーシティ」</b></p> <p>フードダイバーシティ 代表取締役 守護 彰浩</p>	<p>講師プロフィール</p> <p>千葉大学卒業後に世界一商を創始。楽天東海での5年間の勤務を経て、2014年9月に同社を設立。「旅の発見」をコンセプトに、ホテル・レストラン・ツアーなどの対応に向けた研修・セミナーを自治体・行政・企業等に開催。2020年11月には史上最年少で国の政策会議に招かれ、総務大臣へ直接政策提言を行った。流通経済大学非常勤講師。</p>
<p>11/27(月) 18:30~20:00</p> <p><b>「にっぽんの田舎を元気にする」</b></p> <p>株式会社Local Governance 代表取締役 寺本 英仁</p>	<p>講師プロフィール</p> <p>1971年鳥取県生まれ。鳥取県鳥取市町会議員として、町が目指す【A級グルメ】の仕掛け人として町主催の特産品のネットショップ、イタリアンレストラン、食の学校、研習シェフの研修制度を手掛ける。2016年NHK『プロフェッショナル仕事の流儀』でスーパー公務員として紹介され、2023年『地方公務員が本当にすごい』と題した地方公務員アワード2023、『電通CP賞』受賞。2022年鳥取県県政推進委員に選出。現在は鳥と食を繋げる地方創生プロデューサーとして活動中。</p>
<p>12/4(月) 18:30~20:00</p> <p><b>『「世の中を動かすクオコミ」で魅力を届ける』</b></p> <p>リッチハニカム株式会社 代表取締役社長 片岡 豊</p>	<p>講師プロフィール</p> <p>独自の売店舗営業モデルで、次々に徳島の飲食店の評判と売上を上げる。Googleマップに特化した集客サービスを展開するマーケティング会社。直近2年連続、上場企業から地方中核企業に対して、分析を軸にしたマーケティング戦略の運営・実行を支援。自社メディアでは、徳島の地産情報発信を行うYouTubeチャンネル（毎月生放送の方向）を運営。クールジャパン・プラットフォームアワード2023功博特別賞。</p>
<p>12/11(月) 18:30~20:00</p> <p><b>「観光地域経営のあり方」</b></p> <p>JTIC.SWISS 代表 山田 桂一郎</p>	<p>講師プロフィール</p> <p>世界各地の有名観光・リゾート地を巡るマーケティングとブランディングの経験を活かし、地産地消・産地のデジタル化として地産地消と観光産業を成功に導く。2005年、内閣府・国土交通省（観光庁）・農林産省から観光デジタル大使として、内閣府観光地活性化推進部、総務省地産地消推進アドバイザー、内閣府観光デジタル大使プロデューサー、北海道大学客員教授、和歌山大学客員教授、NEWSPOCSOビッカ一等。</p>
<p>12/18(月) 18:30~20:00</p> <p><b>「世界が注目する日本のアドベンチャーツーリズム」</b></p> <p>(一社)日本アドバベンチャー協会 協議会 理事 山下 真輝</p>	<p>講師プロフィール</p> <p>株式会社JTB総合研究所 主要研究員。JTBグループ各社で推進する観光を基軸とした地産地消活性化事業として立ち上げた「地域交流プロジェクト」を各社本社で推進するべく、全社戦略の策定や人材育成に取組み、2018年4月より現職。内閣府観光地活性化推進部として全国各地の観光振興のアドバイザーを行い、行政における観光・地産地消推進政策の各種委員を務めている。</p>
<p>1/9(火) 18:30~20:00</p> <p><b>「これからの観光業にもとめられる人材」</b></p> <p>株式会社インアウトパウンド 仙台・松島 代表取締役 西谷 雷佐</p>	<p>講師プロフィール</p> <p>2012年、普地型観光に特化した旅行会社「たひすけ」を創業。「抱負体験ツアー」青森県が前身KLL」等、地域の暮らしに目を注いだユニークなツアーを多数企画実施。2018年、インアウトパウンド事業に特化した「株式会社インアウトパウンド 仙台・松島」を創業。代表取締役に就任。明確にテーマとコミュニティを設定した高価値・高単価ツアーを造成販売し、自身もガイドとしてアンドンを行っている。</p>
<p>1/15(月) 18:30~20:00</p> <p><b>「観光DXの活用」</b></p> <p>株式会社ユニットティ 代表取締役 永山 卓也</p>	<p>講師プロフィール</p> <p>地産ビジネスのコンサルティング、店舗マネージメント業を中心にデジタル、アナログ両面を活かしたマーケティングで小売・飲食・宿泊業、観光業に豊富な経験を持ち、ローカル検索と呼ばれる今の時代に切り替えられないGoogle等の地産検索、地産検索対応の少ない専門家、Googleビジネスプロフィール、ダイナミックプロダクトエクスポート。</p>

・各回とも講義開始10分前より入室してください。

・各回、講義60分 意見交換30分を予定しております。

・受講用のZoomURLは、各回開催日の前日までにお送りします。

・諸事情により講師及び日程が変更になる場合もございます。

**お申込み**

イーストとくしまDMOのWebサイト又は右のQRコードを読み取り、Webフォームからお申込みください。  
(申込みは開催日前週の木曜日17時まで)

**お問合せ**

一般社団法人イーストとくしま観光推進機構  
TEL: 088-678-2811 FAX: 088-678-2877  
E-mail: info@east-tokushima.jp

- 第1回 観光業のフードダイバーシティ  
(株) フードダイバーシティ 守護 彰浩
- 第2回 日本の田舎を元気にする  
(株) Local Governance 寺本 英仁
- 第3回 「世の中を動かすクオコミ」で魅力を届ける  
リッチハニカム (株) 片岡 豊
- 第4回 観光地経営のあり方  
JTIC.SWISS 山田 桂一郎
- 第5回 世界が注目するア日本のアドベンチャーツーリズム  
(株) JTB総合研究所 山下 真輝
- 第6回 これからの観光業にもとめられる人材  
(株) インアウトパウンド 仙台・松島 西谷 雷佐
- 第7回 観光DXの活用  
(株) ユニットティ 永山 卓也

7回総受講者数 519名



## 観光客だけではなく、「住んでよし」のまちづくりのため住民の観光に関する意識を調査

### ▶ 調査目的

- 観光推進のステークホルダーである『住民』における観光推進の浸透度や恩恵の知覚など、DMOの活動やビジョンなどのインパクトの現状を理解する
- 住んでよしの地域づくりを行う上での戦略策定の基礎材料とする

### ▶ 調査対象

- 「徳島県東部圏域」エリア在住者 計1,993名
- 住民基本台帳より無作為抽出。
- 徳島県東部圏域エリア15市町村の人口構成比に合わせ配布を行う。

### ▶ 調査方法

- 郵送によるアンケート調査
  - 提供された宛名シールを貼り、調査票を送付。アンケート用紙は郵送にて回収。
- 一部インターネット調査
  - パソコンやスマートフォンから回答できる画面を用意し、郵送アンケートの調査票にURL・QRコードを記載。

### ▶ 調査期間

- 調査票発送 : 2023年11月末～12月1週目
  - 個人情報保護の観点より、アンケート・返信用封筒を封入し切手を貼ったものを各市町に返し、各市町で宛名を貼り投函いただいた
- 回答締切 : 2024年1月19日（消印有効）
  - 19日以降1月中の回収分は有効回答数に含む

### ▶ 回収数

- 551件（回収率 27.6%）
- うち、インターネット回答 167件

### ■ 観光の取組みに参加したいという住民は39.9%

	凡例	参加意向あり・計				参加意向なし・計			参加意向あり・計	参加意向なし・計		
		積極的に参加したい	参加したい	ある程度参加したい	どちらともいえない	あまり参加したくない	参加したくない	まったく参加したくない			無回答	
2021年度全体	(n=191)	4.7%	9.9	25.1		38.7	11.5	6.8	2.6	0.5	39.8	20.9
2022年度全体	(n=611)	2.0	9.8	24.5		40.1	10.5	7.2	5.6	0.3	36.3	23.2
2023年度全体	(n=551)	3.6	9.1	27.2		36.3	10.0	8.7	4.5	0.5	39.9	23.2

### ■ 観光客に魅力を伝えたいと考える住民は70.1%

	凡例	意向あり・計				意向なし・計			意向あり・計	意向なし・計		
		とても思う	そう思う	ある程度思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	まったくそう思わない			無回答	
2022年度全体	(n=611)	10.8%		25.7		37.6	17.5	4.6	6.1	80.3	74.1	8.0
2023年度全体	(n=551)	10.0		24.5		35.6	19.8	5.6	3.9	90.5	70.1	9.6

### ■ 観光客に魅力を伝えることに自信があるという住民は17.8%

	凡例	自信あり・計				自信なし・計			自信あり・計	自信なし・計	
		非常に自信がある	自信がある	まあ自信がある	どちらともいえない	あまり自信がない	自信がない	まったく自信がない			無回答
2022年度全体	(n=611)	1.6%	5.2	13.9	19.8	28.8	16.2	14.1	0.3	20.8	59.1
2023年度全体	(n=551)	1.8	4.5	11.4	24.9	27.8	16.5	12.2	0.9	17.8	56.4

# 説明Ⅳ

## 交付金以外の財源を活用した取組み



【事業概要】

2025年大阪・関西万博を見据え、宿泊・観光施設が実施する高付加価値化改修工事に補助金を交付

【事業費】※ 採択決定額

・徳島PJ 848,000千円（補助額 422,000千円） 鳴門PJ 980,300千円（補助額 500,100千円）



眉山海月

眉山山頂の廃屋を新たな宿泊施設として整備



晁宿よしの

雑魚寝スタイルの和室をビジネス客も寛げる新和室へ



モアノコースト

プライベートな入浴施設の充実  
& プライベートサウナ整備



ファーストシーズン

景観改善につながるエントランス  
とサイクリスト対応改修



旧瀬戸小学校

有名建築家による小学校を  
再生した宿泊施設化改修



ホテルサンルート徳島

高級感があり開放的な内装に  
改修しつつ維持管理の手間を低減



NEXEL秋田町

徳島らしさを感じられる客室改修



NEXELa大道

宿泊客以外も利用できる  
大浴場と露天風呂整備



アオアヲナルリゾート

地域の伝統工芸を使った  
コンセプトルーム改修



グランドホテル海月

地下デッドスペースを利用した  
雨天対応のレジャースペース整備



鳴門海月

景観改善につながるエントランス  
と共用部レストラン改修



hacomichi

廃屋をクリエイティブな人々が集まる  
ホテル兼モノづくり拠点へ再生



剣山ホテル

老舗ホテルの大規模高付加価値化改修



NEXEL鳴門

景観改善につながる外観改修  
と客室の高付加価値化改修



NEXELa鳴門

屋上露天風呂の新設と  
レストラン・観光案内スペース改修



公園水野

景観改善につながる外壁塗装

両エリアとも2年連続の採択となり総事業費は約30億円。エリア内宿泊・観光施設の高付加価値化が加速































